



森林の生物多様性保全と生物資源の持続的利用の両立事業 「メコン森林保護地域の越境生物多様性保全計画」



熱帯林保全プロジェクトに20年間の実績

案件概要

国際熱帯木材機関(ITTO)/生物多様性条約(CBD)共同イニシアティブへの最初の支援。
 対象地:カンボジア, タイ国境地域の森林保護地域36万^{ヘクタール}(地図別添)
 実施機関:ITTO, カンボジア林業庁, タイ王立森林局
 (CBD事務局は条約・戦略計画実施の視点から随時助言)
 供与額:1.74億円(約200万ドル)



生物多様性に関する知見が集積

背景

- 対象地域は、生物多様性が豊かな一方で生態系が破壊の危機にある生物多様性ホット・スポット
- 周辺住民の所得は低く、生計は森林資源に依存
- 森林の違法伐採、農地への転換、野生生物の密猟の発生
- 移動型野生生物の生息圏の分断
- 2000年迄に原生林の2/3が消失
- 2001年より、ITTOが中心となり保護地域の管理計画策定等を支援

支援内容

- ①森林の生物資源の持続的利用を通じた地域住民の生計改善に係る活動の支援
 - 野生のラン等の観葉植物を販売用に改良する生物組織培養施設の建設
 - アグロフォレストリー(林間農業)の指導
- ②生物多様性保全のための多様な関係者の能力強化や管理本部設置(関係者とその役割)
 - 森林管理官:保護地域管理・保全
 - 国境警察官:違法伐採, 密貿易取締
 - 村役場職員:土地利用計画の策定
 - 地域住民:意識啓発・保全活動参加
- ③生物多様性の状況を踏まえた重点地域の特定と管理計画の改善
 - 衛星「だいち」の画像提供, 分析による森林の状況や土地変化のモニタリング)
 - 隣接国と共同生息圏調査の実施

効果(新戦略計画実施支援)

- ①新たな収入源を獲得した地域住民(3,000-4,000人)の生計が向上(関連目標)
 - 農業・林業が持続可能に管理(目標7)
 - 生態系が保全され, 自然の恵みが享受(目標14)
- ②36万^{ヘクタール}の森林保護地域における絶滅危惧種であるインドシナトラ等の広域移動型野生動物を含む生態系が保全(関連目標)
 - 森林を含む生息域の損失速度を減らす(目標5)
 - 保護地域を通じた生物多様性の保全(目標11)
 - 生物多様性の実態把握(目標19)



森林の生物多様性保全と生物資源の持続的利用の両立事業 「メコン森林保護地域の越境生物多様性保全計画」 (実施対象地域)



2003年以降目撃情報のない
インドシナトラ
(提供:カンボジア林業庁)



地域住民による苗木の管理
(提供:タイ国立森林局)

カンボジア :
植物及び野生生物の遺伝資源保全のためのプレアビヒア保護林
(19万ヘクタール)